

メールマガジンWebページ

NEWS



YAMAGUCHI MUSEUM
山口県立山口博物館

2012年5月(2号)

見えました！！部分日食



5月21日(月)、晴天を期待していましたが、あいにくの雨模様。観望会開始時には、部分日食の観望は困難な状況でした。しかし、部分日食が始まるころになると雨もやみ、雲間から太陽の光が差すようになりました。多くの方の思いが通じたのか、博物館でこの天体ショーを観望することができました。6月6日には金星の太陽面通過が続きます。この観望を機会に児童・生徒にも天文現象に興味をもってほしいものです。



(県立山口博物館にて撮影)

6月・7月・8月の行事案内

- 6月 6日(水) 金星の太陽面通過を見る会
6:50~13:50 自由参加
- 6月10日(日) チャレンジ!ロボットプログラミング(第1回)
13:30~15:00 要申込(20名)
地質めぐり(第1回)・・・萩市須佐方面
10:00~15:00 要申込(26名)
- 7月22日(日) 植物教室「葉脈標本を作ろう!」
13:30~15:30 要申込(20名)

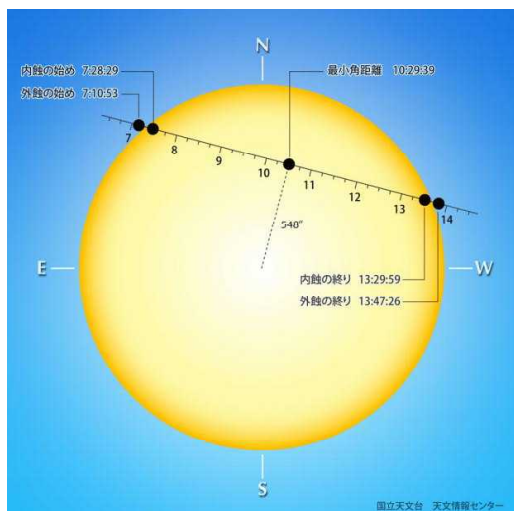
大鉄道展 7月13日(金)~8月26日(日)

※詳しくは各学校に配付しております「2012年度 行事案内」をご覧ください。

館内利用、出前授業の予約状況について

館内利用、出前授業の予約状況については、山口県立博物館のホームページ(博物館 for School)でお知らせしていますが、電話予約の後、ホームページ記載までに若干の時間がかかるため、実際の予約状況との間に遅れが生じております。現在の状況につきましては、電話でお問い合わせくださるようお願いいたします。なお、6月につきましては、多くの出前授業の予約をいただき、新たな出前授業の予約ができない状況となっております。ご了承ください。

6月6日(水) 安全な方法で金星の太陽面通過を観察しましょう!



日本で130年ぶりに金星の太陽面通過が観測された2004年6月8日から8年が経過し、6月6日(水)には21世紀最後となる金星の太陽面通過が観察できます。

この次に観察できるのは、105年先の2117年12月11日となります。この機会に是非、この天体ショーを観望したいものです。

5月21日(月)の部分日食に比べ、観望できる時間が長いため、授業時間や休み時間の観望も可能ではないでしょうか。

山口県での金星の太陽面通過の始まりと終わりの

(画像 国立天文台天文情報センター) 時刻については次のとおりです。

7時11分ころ	外触の始め	金星が最初に太陽と接する瞬間
7時29分ころ	内触の始め	金星が完全に太陽面に入って内接する瞬間
10時30分ころ		金星が太陽面の中心に最も近づく時刻
13時31分ころ	内触の終わり	金星が太陽面から出る直前に内接する瞬間
13時48分ころ	外触の終わり	金星が太陽から離れる瞬間

金星の太陽面通過の観察方法(例)

①天体望遠鏡の太陽投影板を使って観察する。

天体望遠鏡に太陽投影板を取り付け、太陽を拡大投影して観察する方法です。注意する点として、付属のファインダーを取り外しておく、太陽方向に天体望遠鏡を向けるときは、対物レンズや接眼レンズにふたをしておく、観察時には誤って児童・生徒が望遠鏡をのぞき込まないように教師がついておくこと等です。

②日食観察用グラスを使う

簡単に太陽を観察できる方法ですが、金星の見かけの大きさは、太陽の見かけの大きさに対して約30分の1程度の大きさとなります。視力の状況など場合によっては、金星が見えないことも多いので、金星探しに熱中して長時間の観察とならないよう注意が必要です。ときどき目を休め、太陽を見続けることはさけてください。

山口県立山口博物館 開館100周年記念
マスコットキャラクター愛称募集中



募集期間

5月15日(火)~
6月15日(金)

山口県立山口博物館 開館100周年記念
マスコットキャラクターの愛称を募集しております。学校でまとめて募集される場合は、はがき大の紙に愛称1点、必要事項(学校名、学年・クラス、氏名、住所)を記入の上、下記宛にお送りください。

〒753-0073

山口市春日町8番2号 山口県立山口博物館
「開館100周年記念マスコットキャラクター愛称募集」係

